

製品安全データシート

1. 化学物質及び会社情報

会社名 : 株式会社リブライト
住所 : 名古屋市昭和区小坂町2-2-4
担当部門 : 営業部
電話番号 : 052-732-8151
FAX番号 : 052-732-8150
緊急連絡先 : 担当部門に同じ
作成日 : 平成25年2月13日
改訂日 : 平成29年4月14日
製品名 : LLオレンジクリーナー

2. 危険有害性の要約

GHS分類

【対象物質】

2-アミノエタノール
変性アルコール
ポリオキシアルキレンアルキルエーテル
ジエチレングリコールモノブチルエーテル

【健康有害性】

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
皮膚感作性	区分1
発がん性	区分2
特定標的臓器毒性	
・ 単回ばく露	区分2 (神経系、肝臓、腎臓、全身毒性)
・ 反復ばく露	区分2 (神経系、呼吸器、消化管、肝臓、腎、精巣)

【環境有害性】

水生環境有害性 (急性)	区分3
水生環境有害性 (長期間)	区分3

【シンボル】



【注意喚起語】

警告

【危険有害性情報】

皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
神経系、肝臓、腎臓、全身毒性の障害のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による神経系、呼吸器、消化管、肝臓、腎、精巣の障害のおそれ
長期継続的影響により水生生物に有害

【注意書き】

<安全対策>

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

<応急措置>

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

<保管>

施錠して保管すること。

<廃棄>

内容物／容器を都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の情報

分類の名称：該当しない

危険性：該当しない

有害性：目に対して刺激性があり、長時間皮膚に接触すると、肌荒れを起こすことがある。

3. 組成及び成分情報

単一・混合物の区別：混合物

主成分：界面活性剤

ノニオン界面活性剤

ポリオキシアルキレンアルキルエーテル

2-アミノエタノール

変性アルコール

ジエチレングリコールモノブチルエーテル

その他

4. 応急措置

眼に入った場合：清浄な水で最低15分洗浄した後、異常があれば医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：直ぐにコップ1～2杯の牛乳または水、あるいは生卵を飲ませる。

※吐物や泡が気管にはいると肺炎をおこす可能性があるため、無理に吐かせない。また、自然に嘔吐が生じた場合は、吐物を吸入しないように注意する。

嘔吐や下痢症状が激しかったり、様子がおかしい場合は医師に相談する。

5. 火災時の措置

本製品は不燃性であるが、加熱した場合、着火源があると燃える事がある。

消火方法：消火作業の際は風上から行い、適切な保護具を着用し、周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。必要に応じて、呼吸用保護具も着用する。

初期の火災：水、粉末、泡沫、炭酸ガス

大規模火災：大型泡沫消火器が有効である。

周辺火災：可能なかぎり容器は安全な場所に移動する。

消火剤：水、泡沫、粉末、炭酸ガス

6. 漏出時の措置

漏洩した場所周辺にはロープを張るなどして、人の出入りを禁止する。必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。少量の場合は布巾などで拭き取る。大量に流出した場合は回収して適当な容器に入れる。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：目、皮膚及び衣類等に触れないように、また、吸引しないように保護具を着用する。

取り扱い後は、手、顔、身体をよく洗う。

容器は手荒な扱いをせず、内容物の漏洩を防止する。

保管上の注意：直射日光を避け、風通しの良い室内に密栓して保管する。

詰め替え等の作業時：眼に入らないように適切な保護具を着用し、

容器が破損しないように、乱暴な取り扱いを避ける。

8. 暴露防止処及び人に対する保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会勧告値：なし

労働省告示の管理濃度：なし

ACGIH勧告値 : なし

防止対策

設備対策 : 取り扱い場所の近くに水洗、洗眼装置を設置する事が望ましい。

保護具 : 作業着、安全靴、ゴーグル型保護メガネ及びゴム製保護手袋を着用のこと。必要に応じて、顔面シールド、ゴム長靴及びミスト防止マスクを着用の事。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 淡黄緑色透明液体
臭い	: 香料臭
pH	: 10.0 ~ 10.8 (25℃、原液)
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸点範囲	: データなし
引火点	: データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重 (相対密度)	: データなし
溶解度	: データなし (水に無限に溶解する)
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

可燃性 : 消防法に該当しないが加熱などにより着火源があると燃える。

発火性 : 通常条件ではなし

安定性・反応性 : 通常条件では、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。

11. 有害性情報

GHS分類

当該製品のデータが無いため、ポリオキシアルキレンアルキルエーテル、2-アミノエタノール、変性アルコール、ジエチレングリコールモノブチルエーテルの混合物として、GHS分類した。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 加成性判定の結果、区分2とした。

皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 加成性判定の結果、区分2Aとした。

強い眼刺激

皮膚感作性 カットオフ値判定の結果、区分1とした。

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がん性 カットオフ値判定の結果、区分2

発がんのおそれの疑い

特定標的臓器毒性

・単回ばく露

カットオフ値判定の結果、区分2 (神経系、肝臓、腎臓、全身毒性) とした。

神経系、肝臓、腎臓、全身毒性の障害のおそれ

・反復ばく露

カットオフ値判定の結果、区分2 (神経系、呼吸器、消化管、肝臓、腎、精巣) とした。

長期にわたる又は反復ばく露による神経系、呼吸器、消化管、肝臓、腎、精巣の障害のおそれ

その他の情報

急性毒性 : データなし

皮膚腐食性・刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データなし

呼吸器感作性または皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器/全身毒性

・単回暴露 : データなし

・反復暴露 : データなし

吸引性呼吸器有害性 : データなし

1 2. 環境影響情報

GHS分類

当該製品のデータが無いため、ポリオキシアルキレンアルキルエーテル、2-アミノエタノール、変性アルコール、ジエチレングリコールモノブチルエーテルの混合物として、GHS分類した。

水生環境有害性（急性） 加算式判定の結果、区分3とした。
水生生物に有害
水生環境有害性（長期間） 加算式判定の結果、区分3とした。
長期的影響により水生生物に有害

その他の情報

漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与えることがある。特に製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れ込まないようにする。

起こりうる環境影響・生殖毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生物蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

- ・廃薬品、容器等の処理は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をし、処理すること。
- ・廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規に従って処理を行うか、委託を行うこと。
- ・焼却処理をする場合には、珪藻土、布等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却すること。
- ・界面活性剤を含有するので、排水処理をする場合には、凝集沈殿、活性汚泥処理等の廃水処理により、法律及び関係する法規の規制値以下にして河川等に排水する。

1 4. 輸送上の注意

取り扱い、保管上の注意の項の記載による他、一般的注意事項に従う。

容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込む。また、輸送中に互いに衝突して破損することのないように、予め適当な緩衝材を詰める等の処置をし、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送 : 該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法に従うこと。

航空輸送 : 航空法に従うこと。

国連番号 : 該当なし

1 5. 適用法令

消防法 : 該当せず

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物

エタノール

2-アミノエタノール

ジエチレンモノブチルエーテル

イソプロピルアルコール

ノルマルプロピルアルコール

名称等を表示すべき危険物及び有害物

エタノール

2-アミノエタノール

ジエチレンモノブチルエーテル

水質汚濁防止法 : 施行令（排出基準）BOD、COD

毒物・劇物取締法 : 該当せず

PRTR法 : 該当（1-20 2-アミノエタノール）

化審法 : 該当せず

船舶安全法 : 該当せず

1 6. その他の情報

参考文献

14303の化学商品 化学工業日報者

GHS分類結果データベース NITE（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）HP

改訂履歴

平成29年4月14日 一部修正

記載内容の取り扱い

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

本文章の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取り扱いには細心の注意が必要です。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。

記載された物性値、含有率などは、製品の一般的な値を示した物で、規格値、保証値ではありません。